

【赤磐市教育委員会】

校務DX計画

赤磐市の教育現場におけるDX化を推進するため、以下4つの重点項目を定め、校務DXを推進していく。

(1) 校務DX推進体制の構築

- ・ICTに関するサポート体制の充実
教職員のICT活用能力向上と積極的な授業への活用を促進するため、継続して「ICT支援員」を配置する。
- ・教職員スキル（校務及び授業スキル）向上
外部講師や専門家による研修を実施し、教職員のスキル向上を支援する。

(2) 校務の効率化

- ・FAX使用、押印等について、慣例的に行っているものについて、目的等を精査し必要に応じて廃止の検討を進めていく。
- ・校務支援システムへの名簿情報入力に関して、校種間で過不足なく接続できる環境と状況を整備するとともに、GIGAスクールに伴うアカウント等の引継も手入力することなく、効率的に行うことができるようにする。
- ・保護者連絡ツールについて、クラウドサービス等、アプリ等を用いた一斉配信で、おたよりや配布物をペーパーレス化するとともに、保護者から学校への欠席連絡等を行うことができるようにし、保護者負担軽減と情報共有の効率化を図る。
- ・アンケート、調査、日程調整などをクラウドサービスで実施する。
- ・生成AIの有効な活用に向け、教職員へ情報共有及び研修を実施する。
- ・次期校務支援システム導入完了（令和11年度まで）に向け、令和8年度までに統合型（クラウド型）校務支援システム導入の検討を進める。

(3) 児童生徒へのICT活用の推進

- ・持ち帰りの推進
1人1台端末を持ち帰らせ、家庭学習や情報リテラシー教育を推進する。
- ・個別最適な学習環境の提供
クラウドサービスやデジタル教材を用いた学習に取り組み、個別最適な学び、協働的な学びを進める。